平成２１年７月１７日
山形河川国道事務所
(財)山形県埋蔵文化財ｾﾝﾀｰ

一般国道１１２号　霞城改良事業
山形城三の丸跡」発掘調査説明会

～7月18日（土）１０：００から～

国土交通省山形河川国道事務所が進めている、一般国道１１２号霞城改良事業（延長１，３００ｍ）では、今年６月から文化財保護法に基づく「山形城三の丸跡」の発掘調査を進めています。発掘調査が順調に進み、６月２５日には山形城三の丸の堀跡が発掘されました。

今般下記のとおり発掘調査説明会を実施しますのでお知らせします。

記

１．説明会日時：平成２１年７月１８日（土）
１０時００分～

２．説明会場所：山形県山形市旅篭町一丁目地内の現地

３．説明会内容：平成２１年度調査
・概要説明
・調査区の現地説明

４．主　　催：(財)山形県埋蔵文化財センター

＊駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用下さい。

発表記者会：山形県政記者クラブ

〈問い合わせ先〉
(財)山形県埋蔵文化財センター
〒999-3161 上山市弁天二丁目15-1　TEL：023-672-5301(代)

調査課長補佐　伊藤（いとう）　邦弘（くにひろ）
専門調査研究員　佐竹（さたけ）　弘嗣（こうじ）

〈問い合わせ先〉
国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所
〒990-9580 山形市成沢西四丁目3-55　TEL：023-688-8421(代)

建設監督官　安齋（あんさい）　俊彦（としひこ）（内線503）

資　　料



図－１　説 明 会 位 置 図

【平成21年度　調査概要】

本年度調査区域は、三の丸の北東角に近い位置です。昨年度調査区の東側で、三の丸の堀跡にあたる箇所です。現存する山形城下絵図では、三の丸北東部の描写に差異が見られ、堀跡の場所が不明確でした。

今回の調査で、はじめて三の丸北東部の堀跡を確定することができました。

現在調査中ですが、堀の深さは2m以上に及ぶと考えられます。堀跡の中からは、江戸時代後期を中心とする陶磁器、古銭、砥石や石鉢などの石製品が出土しました。



図－２　H21年度調査箇所平面図



写真１　Ｈ２１年度調査状況



写真２　三の丸堀跡の状況

【山形城について】

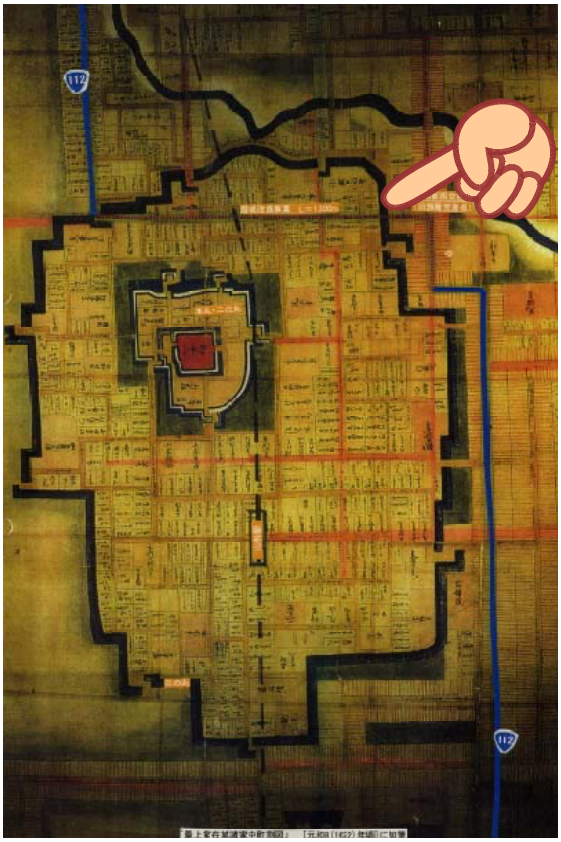
●　山形城は、１４世紀後半に斯波兼頼が築いたと言われております。文禄・慶長年間（1592-1615）に、最上義光によって城が改築され、本丸・二の丸・三の丸と三重の堀を構えた城郭・城下町が建設されました。

概　　要

山形市のほぼ中心街を囲繞する。三の丸の堀と土塁が建造されたのは１６世紀の最末期。三の丸は東西十四町五十間二尺（約1617m）、南北十四丁十五間（約1553m）にわたる。現在は山形市十日町の歌懸稲荷神社境内にある土塁と堀などを残して破壊されている。

三の丸には七日町大手口・横町口・十日町口・八日町吹張口・飯塚口・小田口・下条口・肴町口・小橋口・鯨口の１１の出入り口があった。横町口付近の石垣の一部が、十日町の山形保健センター敷地内にある。下部は石垣で、その上に土をもっており、比高差は約
３メートル。底辺部の東西は２３メートル。南北は２０メートル。

三の丸までが最上家臣団の居住空間であり、１１の門の外に町屋敷が拡がっていた。三の丸は中央部の本丸から見た場合、東側一帯が広いのに対して、西側は狭かった。山形城大手口が東側であり、町民の居住空間の大半が三の丸の東と南側であったことと密接に関係する。（参考 誉田慶信）



図－３「最上家在城諸家中町割図」　[元和8(1622)年頃]に加筆



出羽国最上山形城絵図（結城松平時代山形城下絵図）

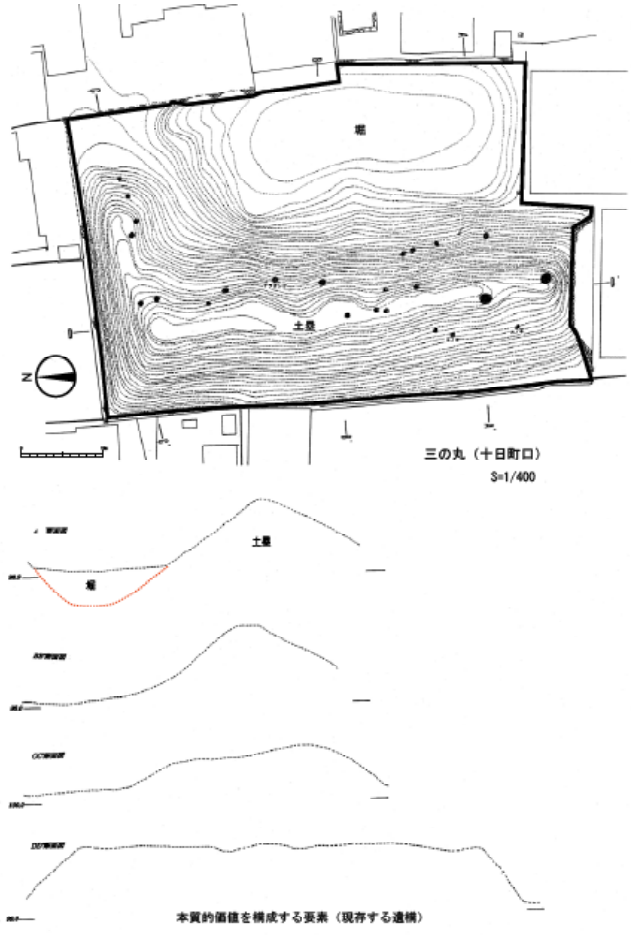
（ 内閣文庫所蔵 ）

図－４

・時代によっては、三の丸の北東部の堀が、はっきりしていませんでした。

【山形城三の丸 土塁と堀】

現存する山形城三の丸の土塁と、堀（推定）の関係を示しました。



図－５　三の丸の土塁と堀

（１）【一般国道１１２号 霞城改良の概要】

● 山形市内を通過する一般国道１１２号は、幅員が狭く、主要渋滞箇所（文翔館西交差点：最大渋滞長1,950m）があり、主要幹線道路としての機能が低下しています。また平成１４年度に供用した東北中央自動車道山形中央ICに直結していることから、山形市内の玄関口として交通量の増加が見込まれます。

● 霞城改良事業は、山形市内の一般国道１１２号を現在の２車線から４車線に拡幅して、交通容量を確保し、歩道も整備し安全な歩行者空間を確保するため、平成１４年度から事業を進めています。

（２）事業概要

・起　　点　山形県山形市七日町一丁目
・終　　点　山形県山形市城北一丁目
・延　　長　Ｌ＝１．３ｋｍ
・道 路 種 別　第４種第１級
・計画車線数　４車線
・計 画 幅 員　W=３１m
（W=３０m　七日町一丁目から文翔館西交差点まで）
・設 計 速 度　４０ｋｍ/ｈ
（６０ｋｍ/ｈ　七日町一丁目から文翔館西交差点まで）

（３）事業経緯

・事 業 着 手　平成１４年度
・用 地 着 手　平成１５年度
・工 事 着 手　平成１９年度